

新型コロナウイルス関連詐欺（メールマガジン 2020 年 6 月号から抜粋）

新型コロナウイルスの発生に伴い、在宅勤務やオンライン授業などの必要性からインターネット利用者が増加する中、これら利用者を対象とした犯罪も増加傾向にあります。今月号では、このような犯罪についてまとめました。皆様の参考になれば幸いです。

（1）未成年者に対する脅迫、不当請求等

オンライン授業の需要から、インターネット経験の未熟な未成年者がパソコンやスマートフォンを所持するようになった結果、

○Facebook で知り合った異性に個人情報やプライベートの写真を提供したところ、これをネタに脅され、裸の写真を送るよう強要された。

○LINE のアカウントを乗っ取られ、身に覚えのない請求が来た。

などのケースが増加しています。

特にお子さんをお持ちのご家庭においては、以下のポイントに注意して家庭内でのご指導を行ってください。

- ダウンロードするアプリの安全性についてチェックする。
- 適切なパスワードの設定を行わせる。
- セキュリティアプリやフィルタリング機能を利用する。
- インターネットの危険性について指導し、何かあればすぐに相談させる。

（2）ビデオ会議用アプリケーション利用者に対するサイバー攻撃

テレワークの普及に伴い、ビデオ会議用アプリケーションの利用者が増加する中、これらの中でも最も普及したとされる「Zoom」について、先日、利用者のパソコンにコンピュータウイルス「トロイの木馬」が埋め込まれるというサイバー攻撃が確認されました。なお、「トロイの木馬」は感染したパソコンの遠隔操作を可能にするもので、利用者が知らずにそのパソコンを用いて会社のネットワークにアクセスした場合、機微なビジネスデータやアクセス認証情報を抜き取られる可能性があるものです。

複数の専門家は、こうしたサイバー攻撃の利用ツールは「Zoom」に限らず、今後他のビデオ会議用アプリケーションでも起こり得ることを指摘した上で、これら攻撃を防止するための推奨事項として、以下を挙げております。

- アプリをダウンロードする際は、アプリのダウンロードセンターなど公式なソースからのもののみを利用する。
- ビデオ会議アプリを利用する場合は、「会議のパスワードを設定する」、「会議情報を非公開に設定する」、「ホストコントロールを構成する」などして安全性を高める措置を講じる。
- アプリは常に最新バージョンを利用する。

(3) 新型コロナウイルスに関連するオンライン詐欺

これら詐欺に関しては、4月号、5月号のメルマガジンでも紹介したところですが、いまだ被害に遭われる方が後を絶ちませんので引き続きご注意ください。

なお、日本政府においては、新型コロナウイルス感染症における緊急経済対策の一環として、5月1日から特別定額給付金のオンライン申請受付が開始されておりますところ、携帯電話会社や運送系企業等を騙り、給付金の申請等に関する不審メールから当選詐欺とみられるサイト等へ誘導されるものや、銀行を騙り、給付金の受給等に関する SMS から銀行のフィッシングサイトへ誘導されるものが確認されております。今後も、給付金等に関するメール等により、巧妙なフィッシングサイトへの誘導に用いられる可能性がありますのでご注意ください。

防衛策としては、以下が挙げられます。

- 給付金に関して、市区町村や携帯電話会社等のメールから URL をクリックしての申請手続きを行わない。
- パソコンのセキュリティ対策を行うとともに、個人情報や銀行口座等を入力する場合は、サイトの安全性に特に注意を払う。
- 違和感のある文章や、漢字のフォントが崩れているようなサイトの場合、ほとんどが詐欺サイトであることを認識する。

※メルマガ4月号の治安・安全情報

[https://www.sydney.au.emb-](https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/life_and_safety/corona_sagi_1.pdf)

[japan.go.jp/document/japanese/life_and_safety/corona_sagi_1.pdf](https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/life_and_safety/corona_sagi_1.pdf)

※メルマガ5月号の治安・安全情報

[https://www.sydney.au.emb-](https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/life_and_safety/corona_sagi_2.pdf)

[japan.go.jp/document/japanese/life_and_safety/corona_sagi_2.pdf](https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/life_and_safety/corona_sagi_2.pdf)

インターネット犯罪に国境はありません。以下のサイトをご参照の上、常に最新のインターネット犯罪に関する情報の収集に努めていただければ幸いです。

※内閣サイバーセキュリティセンター（日本語）

https://twitter.com/nisc_forecast

※独立行政法人情報処理推進機構（日本語）

<https://www.ipa.go.jp/index.html>

※Australian Cyber Security Centre（英語）

<https://www.cyber.gov.au/>